

Title	日本臨床死生学会第 18 回大会 (総合研究所 News)
Author(s)	聖学院大学総合研究所
Citation	聖学院大学総合研究所 Newsletter, Vol.22-No.3, 2013.3 : 27-28
URL	http://serve.seigakuin-univ.ac.jp/refs/modules/xoonips/detail.php?item_id=4482
Rights	



聖学院学術情報発信システム : SERVE

SEigakuin Repository and academic archiVE



究科教授)が大会長を務め、4つのシンポジウム、8つの一般演題によって構成・進行された。また、両日に渡ってPaul T. P. Wong博士(カナダ・ウェスレアン大学ヴィクトール・フランクル研究家意味中心カウンセリング研究所長)を招いた2回の特別講演、24日(土)には村治香織氏を招いたトーク&コンサートが開催された。

本大会の趣旨・目的は「不治の病や生きること」に困難をもつ方々への心のケア」と「東日本大震災で被災された方々、支援する方々へのスピリチュアルケア」について考え、「医療・介護・福祉・教育のスピリチュアルケアを始めとして、患者・家族・子供達が自分の人生に意味や目的を持てるようになるケア」を「どこでも、いつでも」受けられる社会の実現を目指すため、諸問題に向き合い、解決することにある(引用元:日本臨床死生学会第18回大会抄録集)。

シンポジウムは大会趣旨に基づき、スピリチュアルケアの「実践」、「制度」、「理論」についての3つと、「震災」についてのものが各2時間、各シンポジウムの座長とシンポジスト達によって発題・議論が執り行われた。一般演題は「死生学に関するすべての教育・研究」、「死とスピリチュアリティ」、「ホスピスケア/緩和ケア」等の分類別の口演と示説(ポスターセッション)が活発に行われ、2日間の参加者数は200名を上回るものとなった。

数多くの講演・発表が成されたため、すべての内容を記すことは適わないが、2013年度に聖学院大学出版会より『スピリチュアルケアを学ぶ』シリーズ第4巻として、本大会のシンポジウム内容

日本臨床死生学会第18回大会

2012年11月23日(金)、24日(土)の2日間に渡り、女子聖学院中学校・高等学校にて、日本臨床死生学会第18回大会「スピリチュアルケアの実現に向けて一理論・実践・制度一」が開催された。本大会は窪寺俊之氏(聖学院大学人間福祉学部こども心理学科長、聖学院大学大学院人間福祉学研



をまとめた書籍が刊行される予定である。興味を持たれた方は是非、手にとっていただき、さまざまな視点から論じられる「スピリチュアルケア」への理解を深めていただきたい。